


01 目的

中期経営計画に掲げた「EX・CXの高度化による新たな価値の創造とグローバルサステナブル社会を支える企業への成長」を旨として、健康維持・増進に向けた取り組みを行うことで、「健康でいきいきと働くことができる」という従業員のモチベーションや生産性の向上に寄与し、企業の収益拡大・企業価値向上につながると考える。

02 課題・目標

健康経営で解決したい経営上の課題

	<b>課題 ③ 中長期的な企業価値向上</b>	健康経営で解決したい経営上の課題	従業員の健康維持・増進への取り組みを通じたアブセンティズム・プレゼンティズムの改善等による、社員のパフォーマンス向上・企業価値の向上
		健康経営の実施により期待する効果	アブセンティズム、プレゼンティズムの改善等を通じた、労働生産性の向上に繋げるため、メンタルヘルス休務者数のさらなる低減や、特定保健指導対象者数の低減

自社従業員（組織）の課題と目標

重点課題1  ⑧ 健康状態にかかわらず全従業員に対する疾病の発生予防

<b>課題内容</b>	メンタルヘルス休職者及びプレゼンティズムによる損失の低減に向けた取り組み強化のため、全社アンケートを実施し、健康問題を起因としたパフォーマンスの低下割合・損失額を算出。それらの削減による労働生産性の向上を重要課題として設定している。		
<b>目標</b>	プレゼンティズムによるパフォーマンスの低下割合の低減(QQmethod)		
	数値	単位	年度
取組前実績値	6.0	%	2022年度
現在の実績値	5.5	%	2023年度
目標値	5.0	%	2026年度

重点課題2  ⑨ 生活習慣改善(運動・睡眠・食生活等)に関する従業員の課題

<b>課題内容</b>	重要指標であるEXの向上に必要な不可欠である健康増進に向けて、社員の主体的な運動活動の開始・定着等を重点課題として設定している。		
<b>目標</b>	特定保健指導対象者率(低減目標)		
	数値	単位	年度
取組前実績値	25.0	%	2018年度
現在の実績値	18.5	%	2023年度
目標値	14.5%以下	%	2026年度

04 健康経営の成果

経営上の課題に対する健康経営の成果

健康で生き生きと働くことができるよう今回ご紹介した各種健康施策を展開することで、適正体重維持者率の上昇(53.1%/2018年 →68.9%/2023年)や、運動習慣者比率の上昇(24.0%/2018年 →28.9%/2023年)等の数値改善を図ることができ、社員のパフォーマンス向上・企業価値の向上に繋がっている。

03 施策・実績

健康経営の取り組み

施策内容(重点課題1)

- 1.簡易・定期的な健康調査(パルスサーベイ)による不調者の早期発見・改善
- 2.フィットネスクラブ等の利用補助により、社員の健康保持・増進をサポート

具体的な実践内容1

分類	外部サービス
名称	パルスサーベイ
提供元社名	NTTデータ
内容	簡易な問診を定期的に回答することで、自身の体調を把握(セルフケア)及び、上長とのコミュニケーション(ラインケア)を促すサービス
導入時期	2020年10月
選択理由	●機能・性能 ●使いやすさ ●サービス・製品の可能性
評価(定量・定性)	●メンタルヘルス休職者発生率の低下(0.83%/2018年 →0.54%/2023年) ※パルスサーベイの施策効果のみではなく、複合的な要因による数値改善と想定 ●2023年8月より、プレゼンティズム調査に係る設問(SPQ(東大1項目版))を追加し、毎月の損失割合の測定を開始。

具体的な実践内容2

分類	外部サービス
名称	NTTベネフィット・パッケージ
提供元社名	株式会社ベネフィット・ワン
内容	ベネフィット・ワン社が提供する「ベネフィット・ステーション」に、会社独自のサービスとしてフィットネスクラブの利用補助を導入。
導入時期	2018年5月
選択理由	●価格 ●効果 ●使いやすさ
評価(定量・定性)	●運動習慣者比率の上昇(24.0%/2018年 →28.9%/2023年) 健康保持・増進等を支援する高いレベルのサービスを柔軟かつタイムリーに社員に提供することを目的とし、スポーツ・フィットネスクラブの利用補助を導入。 経済的負担が少ないことで継続的な利用が促進され、社員の運動促進に寄与したとともに、健康に対する意識の向上にもつながった。

データ活用事例

事例名	Genovision(遺伝子検査サービス)
内容	遺伝子情報の解析による遺伝的な疾病リスクの判定や、健康診断と掛け合わせてリスク判定を行い、個人毎のレコメンドのフィードバックにより生活習慣改善支援を行う。NTTでは30歳以上の社員に提供する5年毎の人間ドックにて実施(希望者のみ)。
利用データ	健康診断、遺伝子データ
利用者(ユースケース類型)	社員

取り組みにおける課題や困っていること

実施している施策の課題	プレゼンティズム調査(QQmethod)の結果にもとづき、損失率の低減に向け各種施策を実施しているが、より費用対効果の高い健康関連改善施策の選定・実行が課題。
今後取り組みたい施策の課題	会社として健康上の課題を抱えているターゲット層の選定及び重点的な改善施策(女性特有の健康課題・メンタルヘルス対策等)。

施策内容(重点課題2)

- 1.健康情報の管理・閲覧等によるセルフチェック環境の提供
- 2.遺伝子情報等リスク判定フィードバックを実施
- 3.睡眠状況を分析しフィードバックを実施

具体的な実践内容1

分類	外部サービス
名称	ヘルスデータバンク(HDB)
提供元社名	NTTデータ
内容	ストレスチェック、健康診断、及び各種PHRデータを登録・管理し、経年推移など社員が自身の心身の健康状態の変化・自身の改善事項などを把握できるサービス
導入時期	2004年5月
選択理由	●価格 ●機能・性能 ●使いやすさ ●サービス・製品の可能性
評価(定量・定性)	●ストレスチェック、健康診断結果の経年推移等の社員提示等により、自身の状況のセルフチェック環境を提供 ●医療機関ごとに異なる健康診断結果フォーマット等を統一的にデータ管理 ●dヘルスケアとの連携により、本人同意に基づき、歩数・体重記録データ等を連携しデータ蓄積、分析可能な情報蓄積を実施

具体的な実践内容2

分類	外部サービス
名称	Genovision(遺伝子検査サービス)
提供元社名	NTTプレジジョンメディシン
内容	遺伝子情報の解析により遺伝的リスク、生活習慣による疾病リスクが把握できる。30歳以上の社員に5年毎に実施する人間ドックに導入した。
導入時期	2021年4月
選択理由	●機能・性能 ●サービス・製品の可能性
評価(定量・定性)	●遺伝子検査導入以降、約9万人(2024.12時点)の社員が受検し、社員の健康意識の醸成が図られた。※記載数値はNTTグループにおける累計実績 ●遺伝子検査による、疾病リスクの予見・健康レコメンドにより、社員への健康増進活動(行動変容等)の促進を行うことが出来る。

具体的な実践内容3

分類	外部サービス
名称	ねむりの改善プログラム
提供元社名	NTT PARAVITA
内容	睡眠センサーを用いて睡眠データを取得・分析し、データに基づいたアドバイスを受けることで、睡眠改善を促すサービス。
導入時期	2024年9月
選択理由	●機能・性能 ●使いやすさ ●サービス・製品の可能性
評価(定量・定性)	●睡眠データの分析による、睡眠状況改善に向けたパーソナルトレーナーからのアドバイスにより、健康増進活動(行動変容等)の促進と睡眠の改善やストレス低減を行うことが出来た。 ●アテネ不眠尺度 7.2点→3.3点に改善(施策参加者約200人の平均) ※6点以上が不眠症の疑いが高い。